

2017年9月期 第3四半期決算説明



【免責事項】

本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

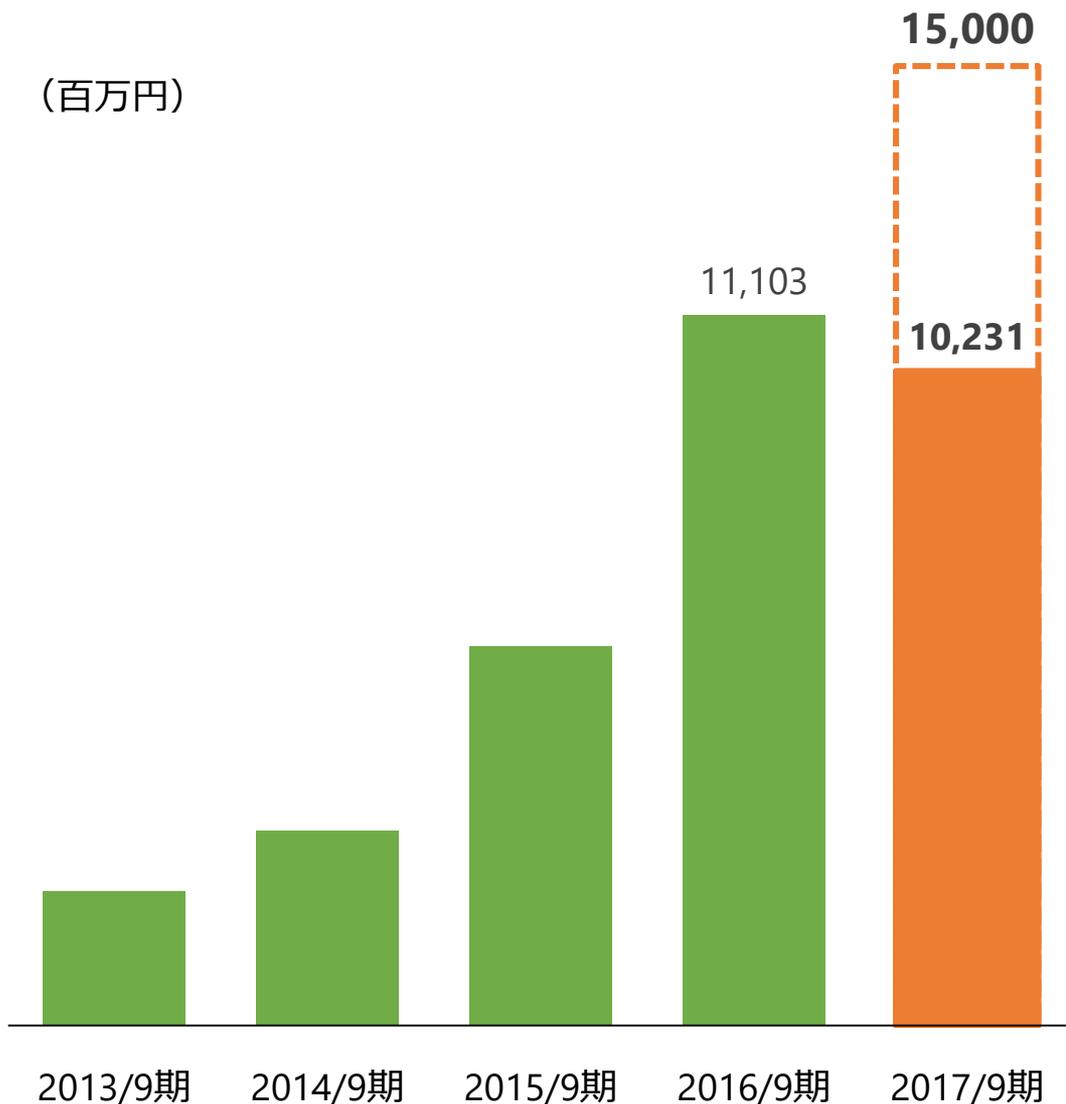
株式会社ユーグレナ

2017年8月

2017年9月期 第3四半期決算概要

業績推移一売上高

(百万円)



**進捗率は68%、
引き続き
年度目標の
達成を目指す**



業績推移—営業利益・経常利益

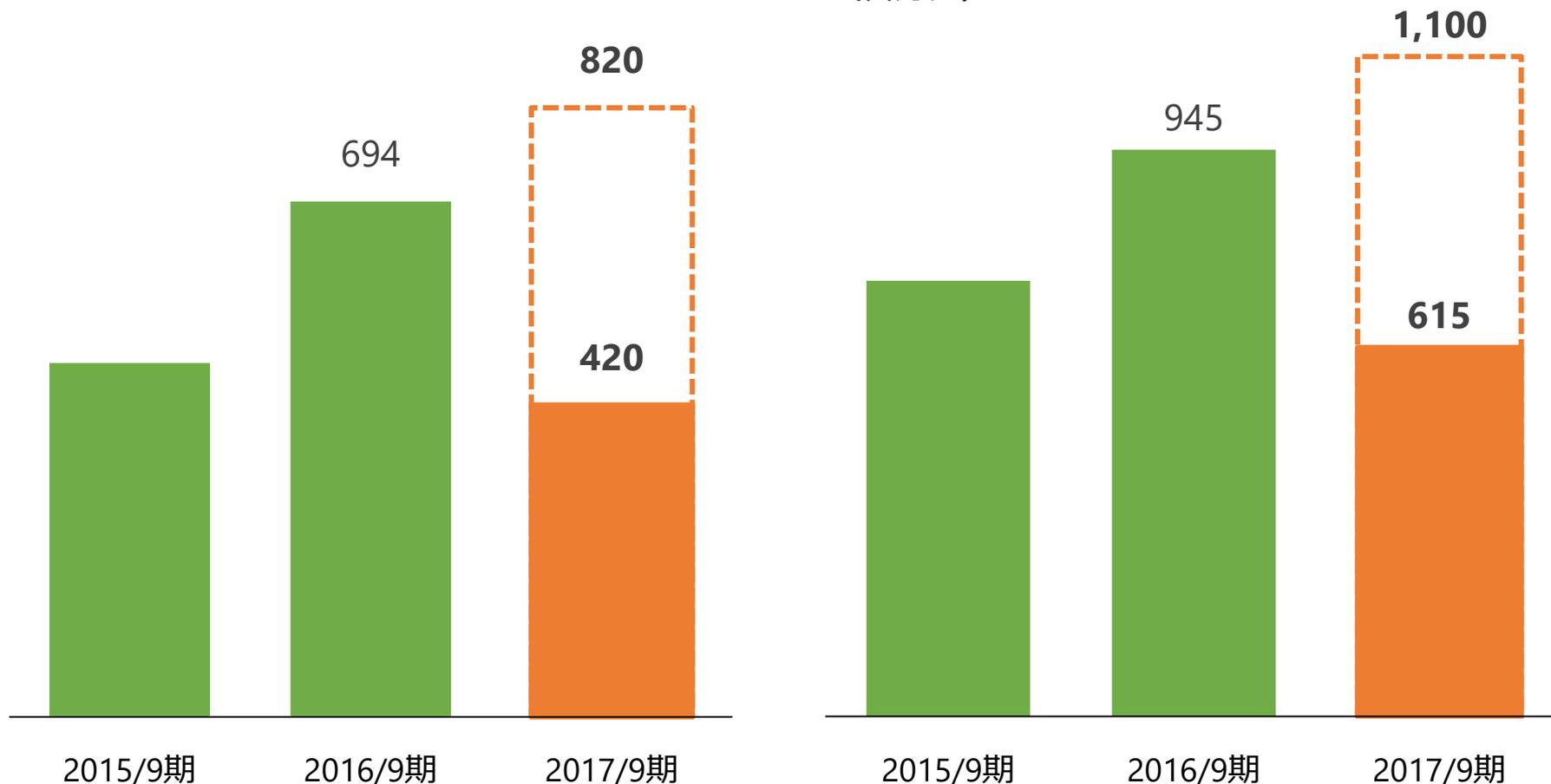
成長投資継続と人件費、管理費の増加により利益の伸びは限定的

営業利益

経常利益

(百万円)

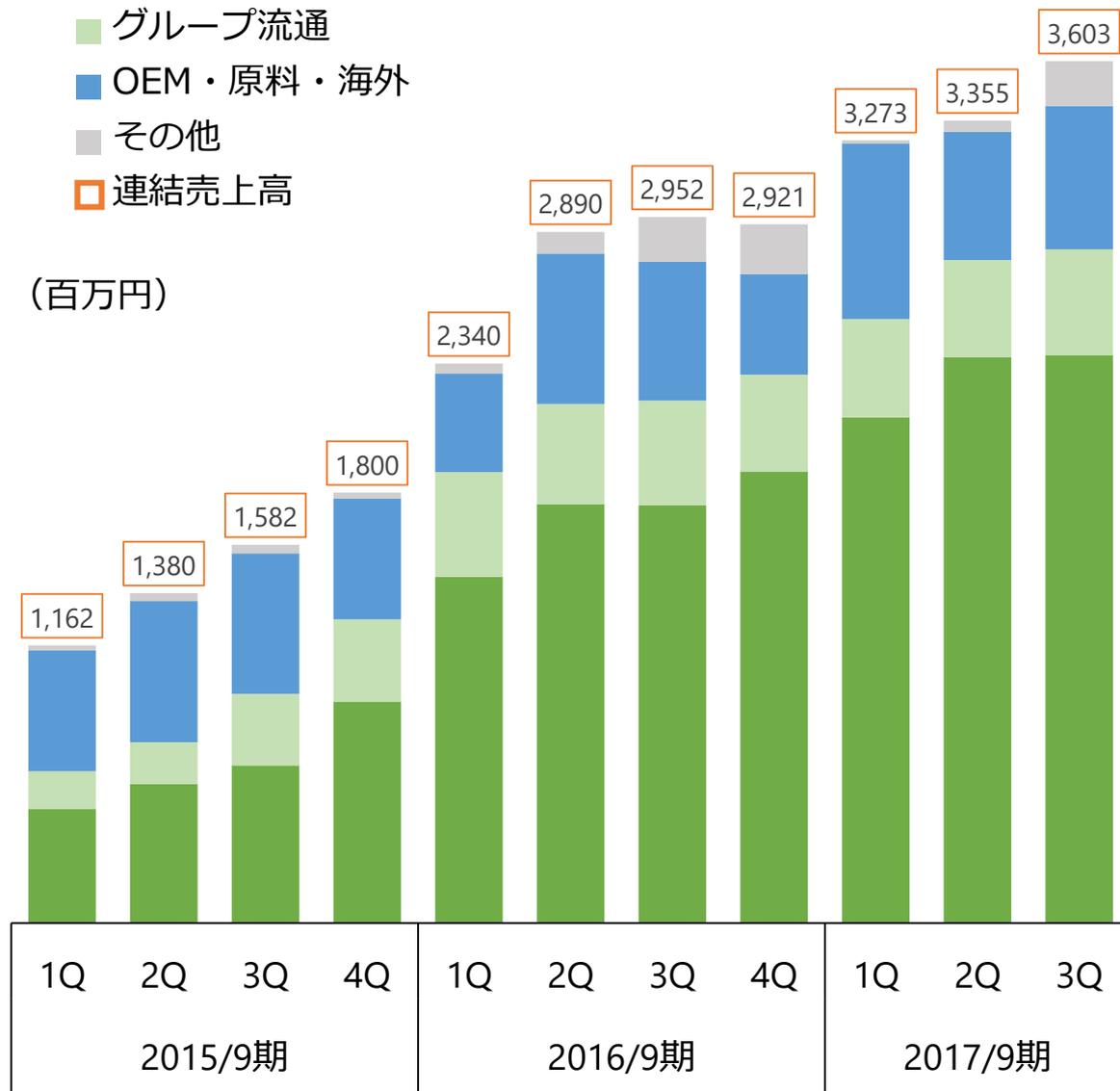
(百万円)



四半期業績推移—売上構造の推移

- グループ直販
- グループ流通
- OEM・原料・海外
- その他
- 連結売上高

(百万円)



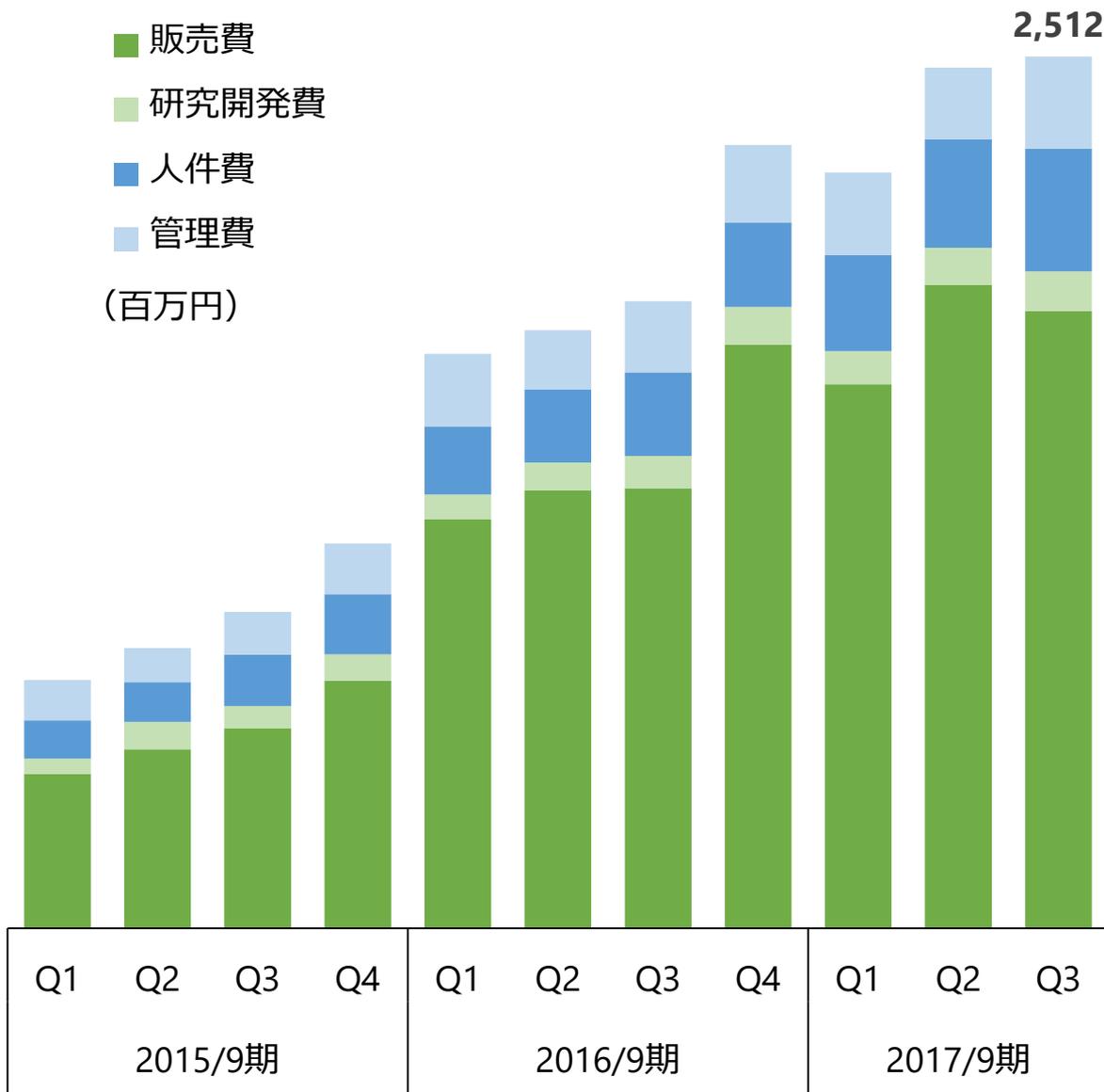
下期偏重の 「その他」が 売上増に貢献



注：「その他」には当社およびグラミンユーグレナの緑豆販売による売上高とユーグレナ竹富エビ養殖のクルマエビ販売による売上高が主に含まれております。

四半期業績推移一販管費

- 販売費
 - 研究開発費
 - 人件費
 - 管理費
- (百万円)



**売上高対比の
販売費比率が減少**



財務サマリー（四半期別 連結損益計算書）

(百万円)	2015/9期					2016/9期					2017/9期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q
売上高	1,162	1,380	1,582	1,800	5,924	2,340	2,890	2,952	2,921	11,103	3,273	3,355	3,603
グループ直販	476	582	659	927	2,644	1,447	1,751	1,748	1,889	6,836	2,115	2,366	2,375
グループ流通	159	175	299	343	976	439	419	436	405	1,699	411	406	441
OEM・原料・海外	504	590	588	506	2,188	412	629	581	419	2,041	733	535	599
その他	22	34	36	25	116	42	91	186	208	528	14	48	188
売上原価	387	443	536	538	1,905	653	743	794	776	2,966	816	876	948
売上総利益	775	937	1,046	1,262	4,019	1,687	2,147	2,158	2,145	8,137	2,457	2,479	2,655
粗利率	67%	68%	66%	70%	68%	72%	74%	73%	73%	73%	75%	74%	74%
販売管理費	715	808	911	1,109	3,543	1,656	1,724	1,807	2,257	7,238	2,178	2,480	2,512
販売費(*)	445	515	577	713	2,251	1,179	1,262	1,268	1,681	5,390	1,568	1,855	1,779
(内 広告宣伝費)	242	246	316	392	1,196	722	719	707	1,071	3,219	981	1,056	989
人件費	110	114	148	173	546	196	210	241	243	889	276	313	354
管理費(*)	116	99	123	146	484	209	172	205	224	809	239	206	264
研究開発費	44	79	64	76	262	71	80	93	109	354	95	107	114
営業利益	60	129	134	153	476	31	423	352	-112	694	278	-1	143
営業外損益	21	102	67	60	250	44	45	125	37	251	24	145	25
(内 助成金収入)	0	95	37	38	170	14	25	94	21	155	2	118	7
経常利益	81	231	202	213	726	75	468	476	-75	945	302	144	169
親会社株主に帰属する 当期純利益	54	140	127	148	470	111	318	323	-78	673	209	92	123
◆参考指標													
減価償却費	19.9	33.9	34.5	47.3	135.6	40.1	57.1	57.0	78.1	232.3	64.9	89.7	93.3
(内 M&A関連)							21.4	10.7	10.7	42.8	10.7	10.7	10.7
のれん償却額	0.9	0.9	11.8	21.1	34.7	29.0	14.9	21.9	47.1	113.0	21.0	27.4	30.0

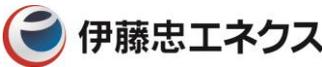
注：

上記テーブルの数値は百万円未満を四捨五入しており、開示数値および本決算説明資料のチャート記載値（百万円未満を切捨て）と一致しない場合があります。本決算説明資料において、売上高の内訳分類に関して見直しを行い、「その他」計上額の一部を「グループ流通」「OEM・原料・海外」へと過去に遡って区分変更した他、2016/9期に関してクロレラの区分を修正いたしました。このため、部分的に過去の公表データと異なっている箇所があります。また2016/9期より過去3期分のカード決済手数料、コールセンター委託費用を管理費から販売費へ組換えた為、販売費及び管理費が過去の公表データと異なる場合があります。

事業パートナーへの第三者割当増資

6月9日に事業パートナーと総額11億円の資本提携を完了

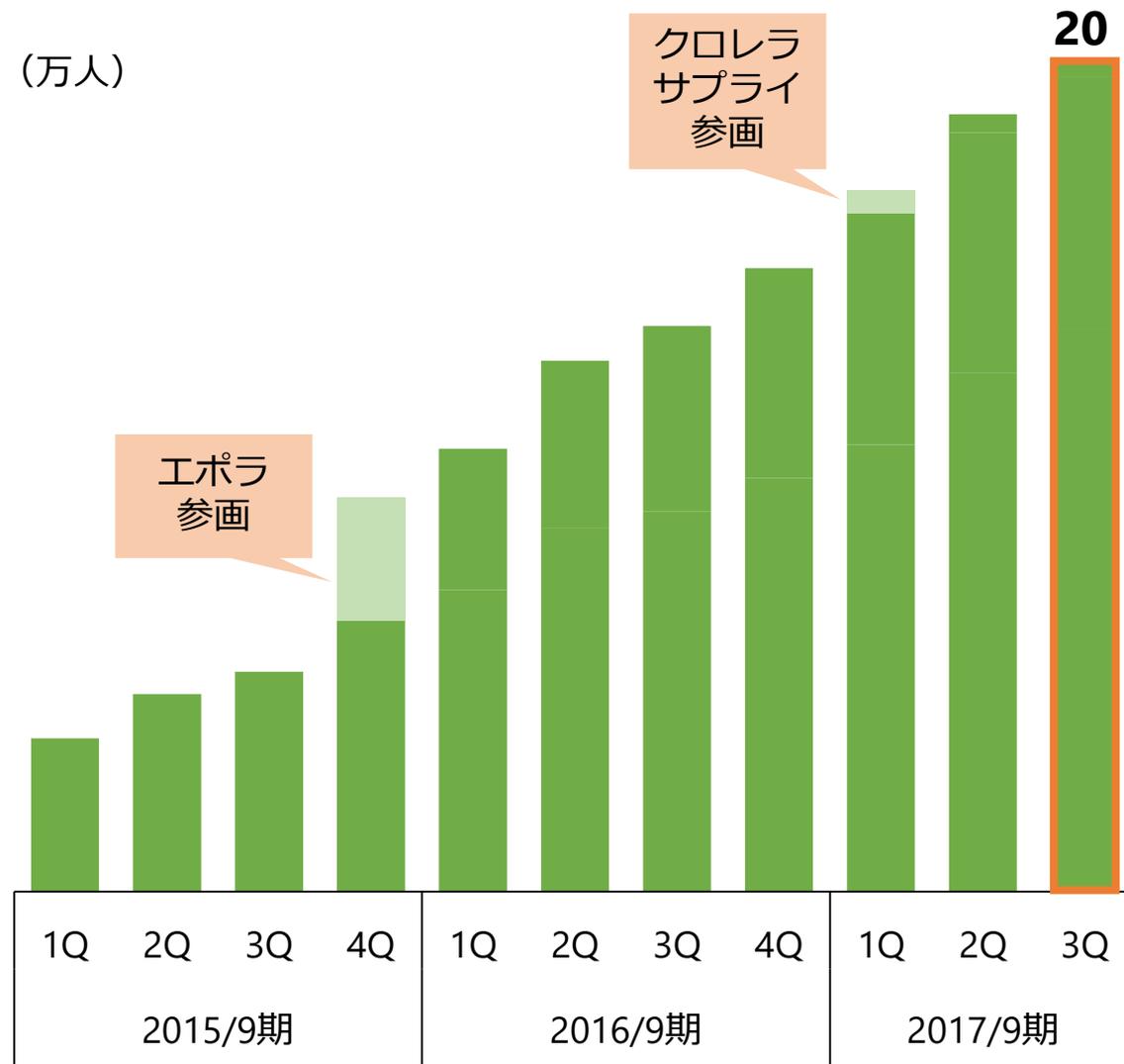
関係性をさらに長期的かつ強固なものとし、事業面での連携を深化

事業パートナー	出資金額	資金使途	事業面での連携
	約 5 億円	バイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラントの運営に関する運転資金	■ 水田造成技術を活用した燃料用ユーグレナの培養設備の建設方法確立や建設コスト低減に向けた共同研究
	約 3 億円		■ 実証プラントの基本設計、建設工事（2018年10月完成、2019年前半稼働のスケジュールで工事を進行中）
	約 1 億円		■ 次世代バイオディーゼル燃料の実用化を目指す「DeuSEL®プロジェクト」を共同推進 ■ 次世代バイオディーゼル燃料を用いた公道走行を共同検討
	約 1 億円		■ 実証プラントで使用する微細藻類以外のバイオ燃料原料の調達や、製造したバイオ燃料の需給・物流・販売
	約 1 億円		■ ユーグレナ等を活用した自社及びOEMブランド健康食品の最終製品の製造・加工委託と新商品の開発

ヘルスケア事業の進捗

グループ直販一定期購入者数推移

(万人)



通販化粧品
「one」の成長が
牽引し
グループ直販
定期購入者数が
20万人突破



注：クロレラサプライ社は2016年12月1日付で当社グループに参画しましたが、会計上は2016年12月31日をみなし取得日として連結対象としております。

グループ流通一商品ラインナップの拡充

商品バラエティの多様化により顧客層と販路の拡大を目指す

直販商品



『メディカプラス イチョウ葉&DHA、
テアニン&ラフマ葉、
甘草グラボノイド』
2017/4/10より販売開始

流通商品



『飲むミドリムシ
グリーンティー』
2017/4/4より
販売開始



『果実スムージー
ミドリムシ×植物発酵エキス』
2017/8/1より
販売開始

M&Aによる遺伝子検査サービス事業への進出

7月3日、ジーンクエストの完全子会社化に関する基本合意締結

8月中の最終合意、10月1日クロージングを予定



主力商品

名称	(株) ジーンクエスト
所在地	東京都品川区
事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 一般消費者向け遺伝子検査サービス■ 法人向け遺伝子検査ASPサービス※■ ゲノムデータに関する研究 <p>※遺伝子検査ASPサービス：遺伝子検査を行うための基本サービス一式をパッケージ化して提供する事業</p>
形態	<ul style="list-style-type: none">■ 株式交換（株式交換比率未定）
スケジュール	<ul style="list-style-type: none">■ 基本合意 : 2017年7月3日■ 株式交換 : 2017年8月中（予定） 契約締結■ 株式交換の : 2017年10月1日（予定） 効力発生日



ジーンクエスト ALL / LITE
(遺伝子検査キット)

研究開発活動の進捗

国産バイオ燃料計画一起工式の様子

6月1日、実証プラントの起工式を実施、実用化に向け前進



6月1日起工式の様子

敷地：	旭硝子（株）京浜工場内（神奈川県横浜市鶴見区）
敷地面積：	7,787.6m ²
製造能力：	日産5バレル
製造量：	年産125KL
生產品目：	バイオケロシン（ジェット燃料）、バイオディーゼル、バイオナフサ
採用技術：	Biofuels ISOCONVERSION Process（Chevron Lummus Global / ARA社よりライセンス供与）
投資総額：	約58億円（※）
スケジュール：	2017年6月1日 着工、2018年10月31日 竣工、2019年前半 稼働

※：今年2月に締結した工事等請負契約における契約金額のほか、実証プラントに関連する基本設計費用、土地整備用等の諸費用（一部は既に支払い済み）を含む金額です。

なお、本実証プラントはバイオジェット燃料及びバイオディーゼル燃料の実用化に向けた実証研究を目的に建設されるため、本実証プラントに係る投資額は、物件引渡日をもって研究開発費として一括費用計上する予定です。

ユーグレナの生産技術開発ー三重県多気町プロジェクト

大規模あぜ型微細藻類培養プール1,000㎡が稼働開始

低コスト、短工期の培養プール建設技術を確立。3,000㎡まで増設予定



あぜ型微細藻類培養プール

建設施設名：	あぜ型微細藻類培養プール
建設地：	多気クリスタルタウン工業ゾーン (藻類エネルギー研究所内)
目的：	低コストかつ短工期の培養プール 建設技術の確立
実施内容：	隣接する多気バイオパワー (木質バイオマス発電所)から排出さ れる排ガス、排水、排熱を 利用した微細藻類の培養を実施
特徴：	あぜ型に固めた土壌で建設された 培養プール(建設コスト1/10、 建設工期1/4程度) ※コンクリートで建設さ れた培養プールと比較
総面積：	1,000㎡

その他事業の進捗

ブータン王国でのキヌア生産の事業調査がJICAに採択

ブータン王国の食料問題および農村の貧困問題解決を目指す

ブータン王国農業省、伊藤忠商事グループなどと協力して実施



 **euglena**



途上国の課題解決型ビジネス
(SDGs※ビジネス) 調査

実施概要

事業名：	小規模農家の収入向上および栄養改善のためのキヌア生産・販売ビジネス調査
実施期間：	2017/08～2019/07（予定）
実施場所：	ブータン王国パロ県および八県
対象：	小規模農家
概要：	キヌアの栽培・収穫後処理の技術指導やキヌアの栄養価に関する食育を実施し、キヌアを輸出するためのバリューチェーンを確立すること
目的：	生産者の収入向上とブータン人の栄養状態の改善
補助金概算額：	4,998万円



注 キヌアは主に南米の標高3,000m近くに生育する雑穀の一種で、栄養価が高く、近年欧米や日本で健康食品として注目されています。

※ SDGsは持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）の略称です。

**バイオテクノロジーで
昨日の不可能を今日可能にする**

